



佐賀県新エネルギー導入戦略的行動計画

平成19年3月23日
佐賀県

佐賀県の新エネルギー政策の考え方

国のエネルギー政策

石油の安定供給
省エネルギーの推進
多様なエネルギーの開発、導入
市場原理の活用

- ・国策として推進
- ・エネルギー供給事業者による大規模集中供給システム

その結果

地方の状況

地方には、水力、火力、原子力などの電源が立地し、都市部へエネルギーを供給。

エネルギー政策に関しては、省エネルギーの推進が施策の中心。

地方の需要者(自治体も含め)はエネルギー消費に関しては供給を受ける受動的な立場。

世界のエネルギー情勢

- ・世界的なエネルギー需要の増加
- ・地球温暖化問題

エネルギーを巡る情勢の変化

- ・環境意識の高まり
- ・地方の自立意識の高まり
- ・技術の進歩による新エネルギー利用可能性の拡大

これからの地方のエネルギー政策

地方から、アグレッシブな
エネルギー政策を発信する！

地方が環境にやさしいエネルギーを生み出す！
地方が環境にやさしいエネルギーを選択する！
地方が環境にやさしいエネルギー技術を提案する！

新エネルギー政策の導入展開

新エネルギー種別毎
の導入方策



風力発電



太陽光発電



バイオマス発電 等



燃料電池



クリーンエネ
ルギー自動車

重点プロジェクト
抽出の視点

選択と集中

将来展望と先進性

まちづくりと産業集積

新エネを導入しやすい
環境づくり

重点プロジェクト

グリーンエネルギー
政策プロジェクト

農山村地域エネルギー
活性化プロジェクト

九州のクロスポイント、
新世紀エネルギー高度
利用プロジェクト

玄海ウエストコースト、
未来エネルギー発信
プロジェクト

重点プロジェクト

プロジェクト名	エネルギー種別	基本施策例
グリーンエネルギー政策プロジェクト	全新エネルギー 太陽光発電 バイオマス燃料 製造	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーを導入しやすい環境づくり事業 ・グリーン電力証書制度等を活用した太陽光発電トップランナー事業 ・公共事業のグリーン化によるBDF利用拡大事業
農山村地域エネルギー活性化プロジェクト	バイオマス	・草木系バイオマスのエネルギー化及び高度利活用事業
	温度差熱利用	・農業分野における地中熱利用技術の開発研究事業
九州のクロスポイント、新世紀エネルギー高度利用プロジェクト	太陽光発電 太陽熱利用 天然ガスコージェネ バイオマス発電 燃料電池 など	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖北部丘陵新都市等への新エネルギー集中導入 ・商工団地、流通団地等におけるマイクログリッドシステム導入事業
玄海ウエストコースト、未来エネルギー発信プロジェクト	燃料電池 海洋温度差発電	・水素・燃料電池関連技術開発支援事業
		・海洋温度差発電技術の応用技術開発支援事業

グリーンエネルギー政策プロジェクト

新エネルギーを導入しやすい環境づくり事業

新エネルギー導入推進チーム（環境課、新産業課、農山漁村課）

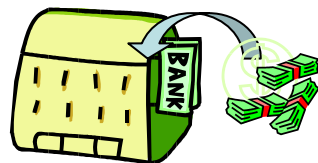
新エネ導入ワンストップサービス

新エネ関連情報の提供（HP）、法手続きの一括相談等、総合的なサービスを実施し、新エネルギー導入者の利便性の向上を図る。



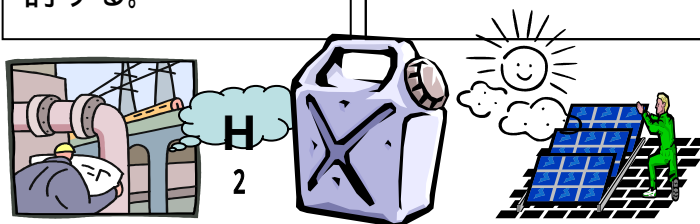
環境エネルギーファイナンス会議

県内の金融機関が参加する会議を設置し、環境に配慮する県民や事業者向けの金融商品の開発を促すなど、新エネルギーの導入を金融面から支援する。



太陽エネルギー住宅推進会議

ハウスメーカーや、工務店、設計事務所、建築士等による会議を設置し、太陽光発電や太陽熱温水器等を利用した住宅の普及を図るための方策を検討する。



グリーン電力証書制度普及セミナー

県内事業所や市町村等を対象に、グリーン電力証書制度の普及啓発セミナーを実施し、企業の環境戦略や自治体の環境貢献対策としての活用を促進する。

新エネ特区・規制緩和検討

国の構造改革特区の活用や、県版特区とのミックス規制緩和等について検討。

情報収集、誘致活動

国や新エネ企業の動向についての情報収集、誘致活動、県内事業所への新エネ導入支援等

5

新エネルギー導入目標(中期目標)

	目標達成に向けたスローガン	平成22(2010)年度 数値目標
太陽光発電	めざせ、10,000ルーフ！ ～ソーラー発電日本一～	住宅用太陽光発電の設置件数として10,000件を目指す。
バイオマス発電、熱利用	生み出せ、バイオ水素！ ～バイオマスガス化システムの出現～	草木系バイオマスのガス化発電施設の実証、実用化施設の設置(3施設)を目指す。
クリーンエネルギー自動車	走れ、3,000台！ ～クリーンエネルギー自動車の倍増～	現状の2倍以上の導入として、3,000台を目指す。
コージェネレーション	未来への20,000kW！ ～水素社会へのホップ・ステップ～	天然ガスコージェネレーション、燃料電池システムの総容量として、20,000kWを目指す。

新エネルギー導入目標(長期目標)

最終エネルギー消費量に対する
新エネルギー供給割合の目標値

H16 (2004) 年度
実績

H32 (2020) 年度
目標

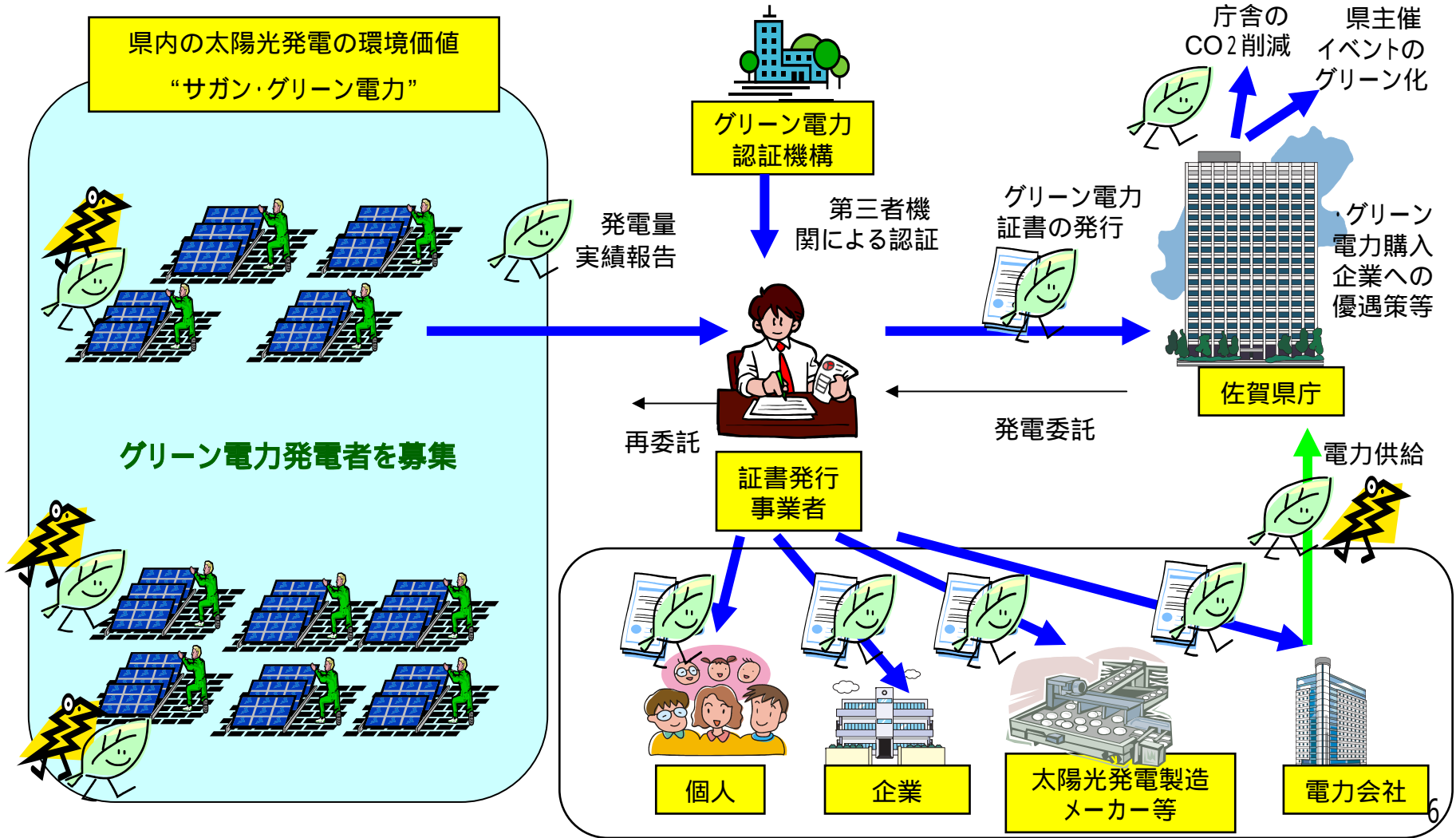
1.68%

6倍

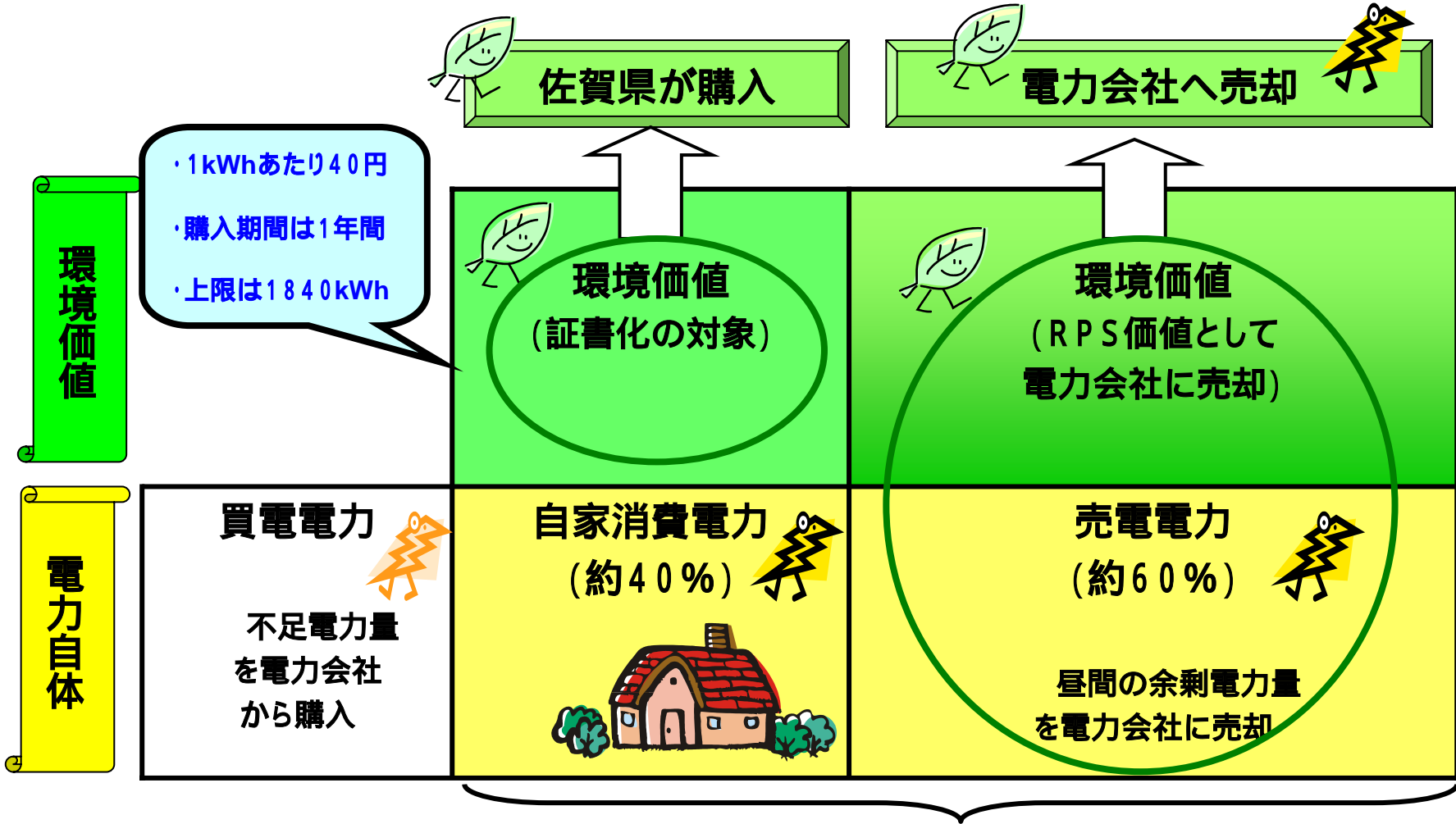
10.0%

グリーンエネルギー政策プロジェクト

太陽光発電トッパー推進事業



電力の環境価値(グリーン電力)



太陽光発電による電力

